



日本消化器癌発生学会
名誉・特別会員、理事、評議員の皆さま：

初秋を迎え、皆さまにはお元気でお過ごしのことと存じます。このたびは悪天候を突いて当地に駆けつけていただき、また第24回総会の企画や開催準備のみならず、総会当日の運用にまでご協力くださり、心より感謝申し上げます。

この総会は奇を衒わず、地道に企画、準備しました。今回の主題設定は、最近のがん起源細胞、がん微小環境、上皮-間葉転換、循環がん細胞、浸潤・転移、分子標的、薬剤耐性、ゲノム配列解析などの時流の課題ではなく、敢えて、がんのより根源的な生命活動や、より大局的ながん予防に焦点を当てました。また、がん研究の実学的指向の一つとして、がんの研究や医療開発に欠かせない発がん動物モデルも取り入れました。このため、一般口演も含めて演題が集まるか心配しましたが、それも杞憂となったようです。皆さまの施設から質、量ともに高いレベルのご研究を多数ご応募いただき、ありがたく思っています。

最近、各種の学術集会ではその活動の一環として、社会貢献が求められるようになってまいりました。本総会のポイントの1つとして、とくに最近、大きな社会問題となっている印刷業者の胆管がん多発事例について、ワークショップと関連講演を企画し、最新の情報を討論しました。この課題は一般の皆さまにご紹介する段階ではありませんが、社会的にもきわめて重要な課題として取りあげました。本総会の学術プログラムのうち時局講演と育成講演は一般の皆さまに公開することにしました。内容はいずれも現在、社会で注目されている課題ですので、この一般公開プログラムをひろく県民の皆さまにお知らせしたいと願ったからです。そして、総会参加者や一般参加者の皆さまから暖かいご評価をいただきました。

本総会の開催までの間、研究のアクティビティを落とさないよう心がけました。そのなかで総会をお世話させていただくことによって、先生方や私たちの仲間の絆が深まり、得るものが多かったように感じています。スタッフ一同に代わり、改めてお礼申し上げます。これからもご指導と、よい機会がございましたらお引き立てくださいますようお願いいたします。僭越ですが、皆さまのますますのご健勝、ご活躍とご発展を願っています。

2013（平成25）年9月12日

第24回日本消化器癌発生学会総会

担当： **源 利成**

源 利成

事務局： 島崎猛夫、山下 要、表 和彦

事務： 浅香敦子



歩

The 24th Annual Meeting of the Japanese Society for Gastroenterological Carcinogenesis

第24回日本消化器癌発生学会総会

会期◇2013年9月5日(木)・6日(金) 会場◇石川県立音楽堂・ホテル日航金沢 会長◇源 利成(金沢大学がん進展制御研究所)

【第24回日本消化器癌発生学会総会事務局】金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍制御研究分野

〒920-0934 石川県金沢市宝町13番1号 TEL: 076-265-2798 FAX: 076-234-4529 E-mail: jsgc2013@med.kanazawa-u.ac.jp